



平成 20 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役社長 上田 陽史
(JASDAQ コード 2 7 0 6)
問合せ先 取締役管理本部長 是枝由美子
(TEL 03 5946 2824)

平成 20 年 2 月期 (連結・単独) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年2月期(平成19年3月1日~平成20年2月29日)の業績について、平成19年10月17日付当社「平成20年2月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

尚、詳細につきましては、本日同時に発表しております「平成20年2月期 決算短信」及び「特別損失に関するお知らせ」をご参照下さい。

記

1. 平成 20 年 2 月期 連結業績予想との差異

(1) 通期 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 2 月 29 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	9,324	46	45	58
今回修正 (B)	10,114	69	67	218
増減額 (B - A)	790	115	112	160
増 減 率	8.5%			

〔 差異理由 〕

売上高につきましては、店舗において人気コンテンツやフェア等の販促施策が奏功したこと、卸売においても他社商品の取扱いが増加し売上が好調だったことなどにより 10,114 百万円 (前回予想比 : 790 百万円の増加) となりました。

売上高が増加した一方で、利益率の低い他社商品の売上構成比の変動による売上総利益率の低下が見られました。さらに、期末におきまして、DVD の販売不調によるアニメ資産の追加償却や、仕掛中のゲームについて販売見込みを修正するなどの評価替えを行ったことにより原価が増加し、また、在外子会社の経営成績の悪化もあり、売上総利益は 2,433 百万円と前回予想比 18 百万円となりました。

上記要因に加え、売上増加による販促費の上昇などで、販管費が前回予想比プラス 97 百万円となった

結果、営業利益は 67 百万円となりました。

当期純利益につきましては、本日付「特別損失に関するお知らせ」(2)から(4)でお知らせしておりますとおり、追加で 67 百万円合計で 128 百万円となる特別損失を計上したことなどにより、 218 百万円となりました。

(3) ご参考：前期の実績（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期（3 / 1～8 / 31）	4,648	19	23	171
通期（3 / 1～2 / 28）	9,328	149	157	71

2. 平成 20 年 2 月期 単独業績予想との差異

(1) 通期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	9,105	37	38	65
今回修正（B）	9,938	30	26	288
増減額（B - A）	833	67	64	223
増減率	9.1%			

〔差異理由〕

差異の理由につきましては、経常利益までにつきましては連結業績予想との差異と同様の理由によるほか、当期純利益につきましては、在外子会社に対する引当金の追加計上と株式評価損の計上により、前回予想比 223 百万円の 288 百万円となりました。

(3) ご参考：前期の実績（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期（3 / 1～8 / 31）	4,585	35	37	160
通期（3 / 1～2 / 28）	9,154	157	159	70

以 上